

台湾 南台科技大学

Southern Taiwan University of Science and Technology

STUST



南台科技大学 (Southern Taiwan University of Science and Technology、STUST) は、台湾の台南市永康区に位置する私立の科学技術大学です。名前の通り、工学系の大学ですが、商学部やデジタルデザイン学部、人文社会科学部があり、日本語を専門で学んでいる学生も多く在籍しています。学生数は約18000人です。大学の前に鉄道の駅があり、台南 (以前の台湾の首都) 駅から一駅です。関空から高雄Kaohsiungまで飛行機で4時間弱、高雄から大学まではバスで1時間程度です。高雄の空港で、STUSTのスタッフと学生が出迎えてくれます。

「Mandarin and Culture Experience Program for Tokushima University」というプログラムに参加します。マンダリン (標準中国語—台湾なので漢字は繁体字) の授業が午前中3時間あります。発音など、初歩から教えてくれます。徳大で中国語を勉強している学生も、ネイティブスピーカーの発音や表現を、少人数のクラスでしっかり学べます。午後は現地の学生が周辺を案内してくれたりしますが、基本的には自由に行動できますから、ぜひ鉄道やバスを使って、周辺を探索して、午前中に勉強した中国語の表現を使ってみてください。プログラム中は、丸1日の高尾と台南の文化体験ツアーが組まれています。週末の土曜日と日曜日はフリーです。台南から台北まで台湾新幹線で2時間弱、外国人割引を使うと5000円くらいですから、台南だけでなく台北にも行ってみましょう。



学生寮に宿泊します。複数の人とシェアします。シャンプーなど、身の回りのものはすぐ近くのドラッグストアやコンビニ (すぐ近くにセブンイレブンやファミマがあります) で買えますが、自分の愛用のものを持って行ったほうがいいです。トイレにトイレトイレットペーパーは備え付けられていません。また、食事は研修費用に含まれていません。台湾は食べ物がとてもおいしいです。特に、台南はフルーツが有名です。



プログラム前後、および期間中に作成するポートフォリオを作成し提出すると、大学公認のデジタルバッジがもらえます。また、条件がありますが、奨学金も受け取ることができます。